



第39回ムトス飯田賞 受賞団体



うめがくほ 梅ヶ久保自然愛護会

～ 里山に自生する山野草の保護・育成を通して輪を広げる ～

【活動を始めたきっかけ】

愛護会が結成される以前の1998年～2000年に掛けて、国の補助事業で「森林空間整備、妙琴公園～飯田高原 7.9km・120ha」に補助金1.6億円が交付され完了しました。それを機会に、2000年4月に地元有志24名による「梅ヶ久保自然保存会」を立ち上げました。

後に「梅ヶ久保自然愛護会」と改名し、現在の会員数は58名です。

【活動内容と、これまでの様子】

- ・カタクリ自生地の遊歩道整備と木道設置.....2005年開始 ～ 2010年完成
- ・木道延伸工事とベンチを新設.....2018年
- ・長野県のご協力によりササユリ保護の看板を設置.....2019年
- ・会員向けの「愛護会だより」を年2回発行
- ・長野県主催のセミナー出席



完成間近 2018年



保護看板設置 2019年

主には、2007年より毎年4月に行われています「かたくり祭」の会場である広大な自生地の下草刈りを、年2回(6月・10月)実施しています。草丈も腰高ままでになり、会員だけでは負担が大きいため、大瀬木区の各種団体に声掛けを行い、ご協力をいただいております。開花面積も年々増えており、かたくり開花時期には多くの方がお見えになります。来場者の安全を図るため、遊歩道と木道の整備に務めております。

【かたくりの里】

所在地：飯田市 大瀬木 梅ヶ久保 (標高:約750m)

群生地面積：約1ヘクタール(10,000㎡)

かたくり株数：約50,000株



丘陵地のため陽当たり時間の差により 開花期間が3週間ほどになります

また、ササユリの保護(長野県指定希少野生動植物)もしておりますが、2018 年頃より梅ヶ久保公園内の開花直前のササユリが、猿による食害に合い開花数が極端に減少しております。面積も広い公園、網掛けによる保護にも工数と費用に限界が有り大変苦慮しております。



6月4日～8日、網で囲う作業にも限界が！



6月10日 開花直前を狙って



食害に合わなかったササユリ

6月16日

【活動を振り返って感じること】

保全活動が主目的でハード面のみでしたが、次年度はソフト面にも力を入れていきたい。「カタクリの里」の開花状況、祭りの詳細等の情報を、会と伊賀良自治振興センターとで共有し両者で仕組みづくりをして、さらなる来訪者増強に努めたい。飯伊の観光局、メディア等にもその向きを早期に提案して受け入れ体制お願いし、足並みを揃えていきたいと考えます。

代表者	三村 弘三	設立	平成 12 年	問合せ先	070-4442-7077 (ムトス飯田推進委員会事務局)
活動日	不定期	活動場所	梅ヶ久保公園周辺	活動エリア	大瀬木地区
会員数	58 名 (協力者 20 名)	会員募集	なし	会費	1,000 円/年
HP・SNS	なし				